

黑川裕一 Kurokawa Yuichi

# はじめに

英会話を習ってみた。 英会話や英語学習の本を買ってみた。 英会話の教材を買ってみた。 ネイティブに話しかけてみた。 留学してみた。

これらをどれ一つやってみたことのない人ならば、そもそもこの本を手に取り、このページを開いてはいないのではないでしょうか。

英語に興味はあるし、努力も全くしなかったわけではない。でも、自信に満ちあふれているわけではない。努力の割には、「このくらい話せるようになりたい」とイメージしたほどのレベルには届いていない。それが現実ではないでしょうか。

では、なぜ届かないのでしょうか。

- 二つの根本的な問題があります。
- 1. **そもそもゴールがはっきりしていない**:「ペラペラ」「スラスラ」という漠然とした イメージのままでは、一直線にそれを目指すことができません。もっとはっきりとし たゴールを設定することが必要です。
- 2. **ゴール達成のための手段がはっきりしていない**:何をすればゴール達成に最も効率 的に近づくのかを検討し、それに絞り込んで一点突破するのが目標達成の王道です。

これらの問題を乗り越え、英語力の劇的向上のお手伝いをするのが本書です。

- 1. 明確なゴール設定: "語数÷3" 秒で英文を音読(=声に出して読みつつ、 内容を理解すること) できることを「ネイティブスピード」と定義し、これ を達成することを目指します。
- 2. 最適な手段の選択:最良の英語独習法として「全速トータル音読」を提案 します。

"語数÷ 3" 秒とは、例えば、300 語のエッセイを 100 秒で読めるということです。「1 分間で 1000 語」のような英文速読法があるようですが、「ななめ読み(飛ばし読み)」をしなければ、これは不可能です。そして、ネイティブでない私たちがななめ読みするのは、たいへん危険であることは言うまでもありません。"語数÷ 3" 秒は、会話におけるネイティブの標準的な発話速度に一致していますので、このレベルで音読ができれば、ネイティブ並みの音読力があると考えてよく、会話においてもネイティブがナチュラルスピードで話すのに十分ついていけるということになります。だから、これを目標に据えるのです。「ペラペラ」「スラスラ」と「"語数÷ 3" 秒」。どちらの方により具体性があり、チェックしやすく、チャレンジしやすいかは、一目瞭然です。

目標達成の手段は、「音読」ではなく「全速トータル音読」です。この二つは似ているようで、全く別物です。

全速トータル音読では、**時間を計って全速力で取り組み、記録します**。ゆえに、「全速」です。

全速トータル音読では、**発音と文法も同時に身につけます**。ゆえに、「トータル」です。

どれだけ音読しても、全速力でやらなければ、ネイティブ並みのスピードにはなりません。

どれだけ音読しても、発音が間違っていれば、結局使えず、自信もつきません。どれだけ音読しても、文法的に正しく読めなければ、間違いを重ねるだけです。

だから、「全速トータル音読」なのです。

# 本書の構成

最も効率よく学習効果をあげるために、本書は以下の構成になっています。

ウォームアップ1 発音編 ウォームアップ2 文法編 演習 実践編

付録編

まずは、ウォームアップの二つのセクションで発音と文法の基礎を必要最小限の事項に絞り込んでカバーし、それを実践編で試すという流れです。ある程度基礎力をつけてから実践に移った方が学習効率は上がるので、発音と文法の基本事項を最初にまとめてカバーします。同時に、あくまでも実用的な英語力を身につけることが目的ですので、これらの基本事項については最重要ポイントのみをコンパクトにまとめています。

# 各セクションの特長:

発音編:発音が正しいとは、「ロの形及び動きが正しい」「舌の形及び動きが正しい」の 二点に尽きます。これを最短で手に入れるために書かれた拙著『英語発音の筋トレ』(中経出版)の方法論を用いれば、ごく短時間で誰でも発音が劇的に変わります。ここではそのエッセンスをまとめています。

文法編:既に複数の著作で提唱済みである「30分でわかる黒川式5段階英文法」を「英文の瞬間把握の仕方≒スラッシュの合理的な入れ方」として音読向きに練り直しました。単語を一つずつ読むのではなく、複数の語句を「かたまり」としてとらえることができるようになれば、音読の速度も精度も飛躍的に向上します。本書ではここを一点突破します。

実践編:大学の英語教科書執筆で定評のある Jim Knudsen さんの著作の中から、選りすぐりのエッセイを掲載しました。豊富な演習で、音読を「頭で理解」するのではなく、「体得」することができるようになっています。長すぎると飽きが来る半面、短すぎると内容に深く入っていきづらいので、"語数÷3" 秒の音読を目指すことを考慮し、300 語前後でワンユニットを完結させています。

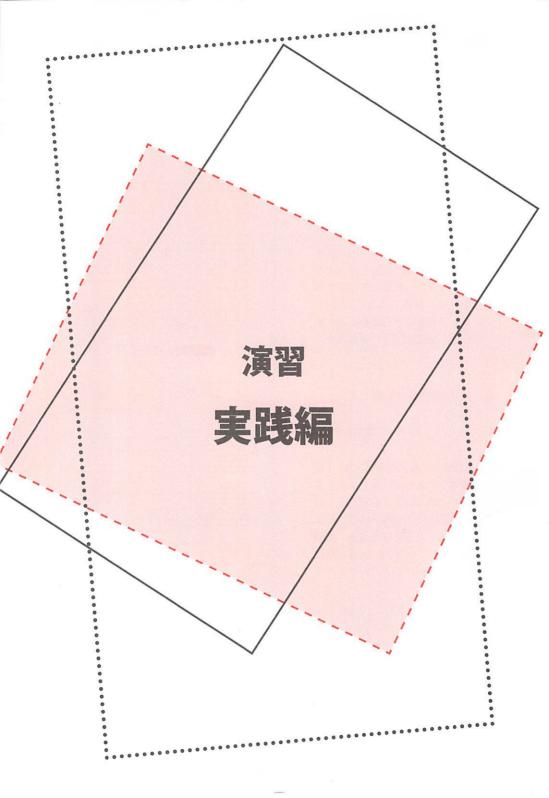
本書を読み終える頃には、あなたが"語数÷3"秒に届いていますように。

黒川裕一

# Contents

# 目 次

はじめに	3
本書の構成	5
ウォームアップ1 発音編	ASSESSMENT OF THE PARTY OF THE
解説	10
図解	12
ウォームアップ2 文法編 ―――	
解説	34
POINT 1 文の骨格	38
POINT 2 並立	45
POINT 3 修飾・被修飾	49
POINT 4 同格	63
演習 実践編	-/
解説	68
LESSON 1 MEMORY	70
LESSON 2 HAPPINESS	76
LESSON 3 INTELLIGENCE	82
LESSON 4 MULTITASKING	88
LESSON 5 TASTE	94
LESSON 6 IT PAYS TO HIT THE BOOKS	100
LESSON 7 YOU ARE WHAT YOU EAT	106
LESSON 8 CELLPHONES: GOOD NEWS, BAD NEWS	112
LESSON 9 THE WORLD'S HOTTEST ISSUE	118
LESSON 10 SMART ROADS AND CARS	124
付録編	
実践編英文の翻訳例	132

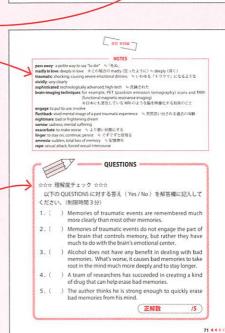




# 解説

- 本文:スラッシュを入れながら、全速力で音読してください。その際、口も可能な限り大きく動かしてください。慣れてくれば、全速力でおこなっても、口や舌をはっきり正しく動かせるようになります。また、音読の際は必ず時間を計り、単語ではなく、「かたまり」で意味をとらえることに集中して、全速力で行いましょう。
- ③ NOTES:辞書を引く回数が最小限ですむように、語注を配しました。このNOTESを読むこと自体が英語速読学習の一助となるよう、英語による簡潔な定義、説明を基本とし、日本語による説明は補足として付け加えるにとどめました。
- 五問テスト:読みの正確さを確かめるためのチェック用テストです。正答数も必ず記録しましょう。





# RIEMAX

- スラッシュ実例 Let's say / you have been in a serious car accident. Or a close relative or friend / has passed away. Or perhapit omeone / you were madly in love with / has left you / for someone else. If you're anything like me, / you know / that memories of traumatic events like these | are particularly hard / to crase from the mind. They are remembered much more vividly / than normal memories. What is the reason for this?

Researchers at Duke University. / using sophisticated b techniques. / have come up with an answer. Bad memories not the part of the brain / that controls memory, / but they also involve the amygdala, / the brain's emotional center. This interaction between leding and remembering / gives such memories a "special resonance." discovery may help us / to better understand and treat post-tra atic str disorder (PTSD). PTSD is a serious psychological condition cansed b traumatic experiences. Its victims suffer from frequent fashbacks and nightmares / in which they relive the original event over and

So is there any way / we can get rid of such had memorie alcohol has been believed / to be helpful in "drowning one" orrows." But a team of doctors at the University of Tokyo / says no to that idea. Drinking just exacerbates things, / they claim. Although alcohol may have some shortterm benefits, / it actually causes bad memories / to linger in the mind much

But hope is on the way. Another team of researchers, University, / has developed an "amnesia drug" / that can help delete bad memories. The drug, / known as Proponal, / has already been used / to treat victims of rape and serious accidents. In just ten days on the drug, / patients were able to talk / about their traumatic experience / more openly and calmly-/ the first step towards complete recovery.

PICKUP

one / you were madly in love with / has left you for son

NH NHW

someone の後に関係代名詞 whom が省略されています。英語では、POINTI で学んだ SVO<sub>1</sub>O<sub>3</sub> などの一部例外を除き、原則として名詞が二つ以上続くこと はありません。そのような場合には、前置調や接続調が必ず間に入ります。ゆえ ione you と二つの名詞が続いているのを見て、「おかしい」と感じるこ とが大切で、多くの場合、間に関係関が省略されており、そこにスラッシュを入 れることになります。

The Duke discovery may help us / to better understand and treat nost-tra

help us / to better understand に注目しましょう。この「動詞+人+ to ~」は 領出パターンの一つで、「人」が to 以下の動作の動作主になります。 to の前にス ラッシュを入れますが、すぐ前の「人」が動作主である以上、これと to 以下と の結びつきは強いので、頭の隅に留めておいてください。

ther team of researchers, / this time at Harvard University, / has developed an "amnesia drug" / that can help delete bad memor

this time at Harvard University がコンマによって挟まれています。 これはまず 確実に「挿入」ですので、スラッシュを前後に入れ、急ぐときには読み飛ばすく らいのつもりで大丈夫です。

## 解答品解證。

- 1. YES: OUESTION の内容は、本文の "They ( memories of traumatic events are remembered much more vividly than normal memories." に符合し ています。
- 2. NO: 本文には"Bad memories NOT ONLY engage the part of the brain that controls memory" とあるので、「脳の記憶をつかさどる部分を働かせ るのみならず (他にも…)」と言っており、QUESTION の "Memo of traumatic events DO NOT engage the part of the brain that controls memory" (~を働かせない) はこれに矛盾します。
- 3. NO: 本文が "Although alcohol MAY HAVE SOME short-term benefits" (短

.... 72

期的な利益はいくらかあるかもしれない) と言っているのに対して、 OUESTION は "Alcohol DOES NOT HAVE ANY benefit" (利はは一 つもない) と言っていますので、矛盾します。

- 4. YES: QUESTION の内容は、本文の "Another team of re at Harvard University, has developed an "as delete bad memories."に符合します。
- 5. NO: 本文中で、筆者は"If you're anything LIKE ME, you know that t of traumatic events like these are particularly HARD TO ERASE from the mind. " (もしあなたが少しでも私のようであるならば、これらの 記憶は消し去るのがとりわけ難しい) と告白しており、QUESTION の "strong enough NOT TO quickly erase bad memories" (ひどい記憶 に苦悩させられないほど強い)はこれに矛盾します。

Tips

音読数材は、自分に合った語彙レベルのものを選ぶのが最適です。インターネットで 接すのであれば、初中級者は小中学生向けの勉強サイトが手頃です。本であれば、レベ ルによって語彙や文法のレベルを限ってある、いわゆる "Grade Reader" がおすすめで、 例えば、Penguin Readers、Oxford Bookworms などのシリーズが有名です。まずは幕 しめのものからスタートし、本書の目標速度である"語数+3"秒ですらすら読めるよ うになってから、次のレベルに進むようにすると、モチベーションが続きます。

- スラッシュ実例:自分のスラッシ ュと比較して下さい。読めていない 部分ほど、スラッシュの入れ方がず れているのが分かるはずです。
- 6 PICKUP:スラッシュ入れが特に 難しい個所や文法の重要ポイントの 復習に最適なセンテンスを厳選して あります。一読して理解できれば OK。できなければ、文法編の当該 個所に戻り、読み返してください。
- 解説です。単に正誤を確かめるので はなく、「きちんと読めていたか否 か」を丁寧にチェックするようにし てください。学習は、量より質です。
- Tips: 息抜きも兼ねて、学習のちょ っとしたコツを短文でまとめました。 参考にしていただければ嬉しいです。

.....74

# Lesson1

# **MEMORY**



人は記憶する生き物です。記憶(memory)はときに人の心を和ませますが、ときに傷つけもします。思い出したくないことほど思い出してしまうという経験は誰にでもありますが、それには科学的根拠があるらしいのです。

Let's say you have been in a serious car accident. Or a close relative or friend has passed away. Or perhaps someone you were madly in love with has left you for someone else. If you're anything like me, you know that memories of traumatic events like these are particularly hard to erase from the mind. They are remembered much more vividly than normal memories. What is the reason for this?

Researchers at Duke University, using sophisticated brain-imaging techniques, have come up with an answer. Bad memories not only engage the part of the brain that controls memory, but they also involve the amygdala, the brain's emotional center. This interaction between feeling and remembering gives such memories a "special resonance." The Duke discovery may help us to better understand and treat post-traumatic stress disorder (PTSD). PTSD is a serious psychological condition caused by traumatic experiences. Its victims suffer from frequent flashbacks and nightmares in which they relive the original event over and over.

So, is there any way we can get rid of such bad memories? For centuries, alcohol has been believed to be helpful in "drowning one's sorrows." But a team of doctors at the University of Tokyo says no to that idea. Drinking just exacerbates things, they claim. Although alcohol may have some short-term benefits, it actually causes bad memories to linger in the mind much longer and stronger.

But hope is on the way. Another team of researchers, this time at Harvard University, has developed an "amnesia drug" that can help delete bad memories. The drug, known as Proponal, has already been used to treat victims of rape and serious accidents. In just ten days on the drug, patients were able to talk about their traumatic experiences more openly and calmly—the first step towards complete recovery.

目標 100 秒 語数 300 語 所要時間



# NOTES

madly in love: deeply in love ※この場合は madly (狂ったように) ≒ deeply (深く)

traumatic: shocking; causing severe emotional distress ≒ いわゆる「トラウマ」になるような

vividly: very clearly

sophisticated: technologically advanced; high-tech = 洗練された

brain-imaging techniques: for example, PET (positron emission tomography) scans and fMRI

(functional magnetic resonance imaging)

※日本にも普及している MRI のような脳を映像化する技術のこと

engage: to put to use; involve

flashback: vivid mental image of a past traumatic experience ≒ 突然思い出される過去の体験

nightmare: bad or frightening dream

sorrow: sadness: mental suffering

exacerbate: to make worse ≒ より悪い状態にする

linger: to stay on; continue; persist ≒ ぐずぐずと居残る

amnesia: sudden, total loss of memory = 記憶喪失 rape: sexual attack: forced sexual intercourse



# **QUESTIONS**

☆☆☆ 理解度チェック ☆☆☆

以下の QUESTIONS に対する答え( Yes / No )を解答欄に記入してください。(制限時間 3 分)

- 1. ( ) Memories of traumatic events are remembered much more clearly than most other memories.
- 2. ( ) Memories of traumatic events do not engage the part of the brain that controls memory, but rather they have much to do with the brain's emotional center.
- 3. ( ) Alcohol does not have any benefit in dealing with bad memories. What's worse, it causes bad memories to take root in the mind much more deeply and to stay longer.
- 4. ( ) A team of researchers has succeeded in creating a kind of drug that can help erase bad memories.
- 5. ( ) The author thinks he is strong enough to quickly erase bad memories from his mind.

正解数

15



# スラッシュ実例

Let's say / you have been in a serious car accident. Or a close relative or friend / has passed away. Or perhaps someone / you were madly in love with / has left you / for someone else. If you're anything like me, / you know / that memories of traumatic events like these / are particularly hard / to erase from the mind. They are remembered much more vividly / than normal memories. What is the reason for this?

Researchers at Duke University, / using sophisticated brain-imaging techniques, / have come up with an answer. Bad memories not only engage the part of the brain / that controls memory, / but they also involve the amygdala, / the brain's emotional center. This interaction between feeling and remembering / gives such memories a "special resonance." The Duke discovery may help us / to better understand and treat post-traumatic stress disorder (PTSD). PTSD is a serious psychological condition / caused by traumatic experiences. Its victims suffer from frequent flashbacks and nightmares / in which they relive the original event over and over.

So, is there any way / we can get rid of such bad memories? For centuries, alcohol has been believed / to be helpful in "drowning one's sorrows." But a team of doctors at the University of Tokyo / says no to that idea. Drinking just exacerbates things, / they claim. Although alcohol may have some short-term benefits, / it actually causes bad memories / to linger in the mind much longer and stronger.

But hope is on the way. Another team of researchers, / this time at Harvard University, / has developed an "amnesia drug" / that can help delete bad memories. The drug, / known as Proponal, / has already been used / to treat victims of rape and serious accidents. In just ten days on the drug, / patients were able to talk / about their traumatic experiences / more openly and calmly— / the first step towards complete recovery.

# PICKUP

Or perhaps someone / you were madly in love with / has left you for someone else.

someone の後に関係代名詞 whom が省略されています。英語では、POINTI で学んだ  $SVO_1O_2$  などの一部例外を除き、原則として名詞が二つ以上続くことはありません。そのような場合には、前置詞や接続詞が必ず間に入ります。ゆえに、someone you と二つの名詞が続いているのを見て、「おかしい」と感じることが大切で、多くの場合、間に関係詞が省略されており、そこにスラッシュを入れることになります。

The Duke discovery may help us / to better understand and treat post-traumatic stress disorder (PTSD).

help us  $\angle$  to better understand に注目しましょう。この「動詞+人+ to  $\sim$ 」は 頻出パターンの一つで、「人」が to 以下の動作の動作主になります。 to の前にス ラッシュを入れますが、すぐ前の「人」が動作主である以上、これと to 以下と の結びつきは強いので、頭の隅に留めておいてください。

Another team of researchers, / this time at Harvard University, / has developed an "amnesia drug" / that can help delete bad memories.

this time at Harvard University がコンマによって挟まれています。これはほぼ確実に「挿入」ですので、スラッシュを前後に入れ、急ぐときには読み飛ばすくらいのつもりで大丈夫です。

# 解答&解説-

- 1. **YES**: QUESTION の内容は、本文の "They (memories of traumatic events) are remembered much more vividly than normal memories." に符合しています。
- 2. NO: 本文には "Bad memories NOT ONLY engage the part of the brain that controls memory" とあるので、「脳の記憶をつかさどる部分を働かせるのみならず(他にも・・・)」と言っており、QUESTION の "Memories of traumatic events DO NOT engage the part of the brain that controls memory" (~を働かせない) は、これに矛盾します。
- 3. NO: 本文が "Although alcohol MAY HAVE SOME short-term benefits" (短



期的な利益はいくらかあるかもしれない)と言っているのに対して、 QUESTION は "Alcohol DOES NOT HAVE ANY benefit" (利益は一 つもない) と言っていますので、矛盾します。

- 4. YES: QUESTION の内容は、本文の "Another team of researchers, this time at Harvard University, has developed an "amnesia drug" that can help delete bad memories." に符合します。
- 5. NO: 本文中で、筆者は "If you're anything LIKE ME, you know that memories of traumatic events like these are particularly HARD TO ERASE from the mind." (もしあなたが少しでも私のようであるならば、これらの記憶は消し去るのがとりわけ難しい)と告白しており、QUESTIONの "strong enough NOT TO quickly erase bad memories" (ひどい記憶に苦悩させられないほど強い)は、これに矛盾します。

# Tips

音読教材は、自分に合った語彙レベルのものを選ぶのが最適です。インターネットで探すのであれば、初・中級者は小中学生向けの勉強サイトが手頃です。本であれば、レベルによって語彙や文法のレベルを限ってある、いわゆる、"Grade Reader"がおすすめで、例えば、Penguin Readers、Oxford Bookworms などのシリーズが有名です。まずは易しめのものからスタートし、本書の目標速度である"語数÷3"秒ですらすら読めるようになってから、次のレベルに進むようにすると、モチベーションが続きます。